

新居浜市共同調理場運営委員会議事録

開催日時 平成28年10月14日(金) 13時00分から14時00分まで

開催場所 新居浜市学校給食センター 2階 研修室

出席者 [出席委員] 10名
武方弘行、高橋正弥、一色明繁、河合秀和、松場直美、渡邊誠一、永易泰蔵、
吉松泰彦、長瀬陽子、山本節子
[欠席委員] 5名
大西政年、高木賢二、戒能正、鎌田幸一、玉井輝美
[事務局] 4名
桑原課長、伊藤副課長、桧垣栄養士、木村係長

配布資料 新居浜市共同調理場運営委員会次第、新居浜市共同調理場運営委員会関係条文、新居浜市共同調理場運営の概要・平成27年度実績及び決算状況について、中学校給食選択など年次経過、平成27年度中学校給食に関するアンケート調査結果、運営委員会委員名簿、新居浜市の教育及び市政概要の中の学校給食の関連部分

試食会(12時30分から13時まで)

- ・参加者：10名
- ・献立：ちらし寿司、鯖の塩焼き、豆腐汁、ツナと野菜のソテー、手巻きのり、牛乳
栄養士が学校給食試食会の資料に基づき、当日の献立、給食全般について説明。

【委員会】

- 1 開会、桑原課長挨拶
- 2 配布資料の確認・運営委員会設置目的の説明・委員紹介(自己紹介)
事務局より配布資料の確認、別紙「新居浜市共同調理場運営委員会関係条文」に基づき、委員の職務内容共同調理場の概要、委員構成等を説明。その後、出席委員および事務局の自己紹介を行う。

委員長・副委員長の選出

新居浜市学校給食調理場設置及び管理条例施行規則第5条第1項により、委員の互選により選出とのことであるが、一色委員より事務局一任との提案により、事務局より委員長に河合委員、副委員長に武方委員を推薦、全会一致で選出。

3 議 事

河合委員長、武方副委員長、挨拶に続き議事進行。

○委員長

共同調理場の概要、平成27年度事業実施及び決算状況について、説明願います。

事務局より、資料「新居浜市共同調理場運営の概要・平成27年度実績及び決算状況について」に基づき説明。

学校給食センターは、8中学校と県立新居浜特別支援学校本校、川西分校を対象に給食を配送しており、対象児童生徒数は中学校2,760人、特別支援学校本校319人、川西分校は32人。川西分校はセンターから配送したものを分校で再調理している。平成27年度の稼働日数は183日、アレルギー食対象者数は35名。平成27年度は、人件費、消耗品費、燃料費などの支出や施設等の維持管理業務委託、衛生管理のための検査、設備や部品の修繕、給食選択制予約に係るパソコンのリース、給食配送車の維持管理等を実施し、給食原材料費を除く事業費は1億878万5千271円であった。

高津共同調理場は、高津小学校と東中学校を対象に給食を作っており、対象校の児童生徒数は、1,116人である。平成27年度の稼働日数は191日で、アレルギー食対象者数は26名である。平成27年度は、消耗品費、燃料費などの支出、厨房器具等の修繕、給食配送車の維持管理などを実施し、給食原材料費及び人件費を除いた事業費は284万6千200円であった。

○委員長

中学校給食選択率等について、説明願います。

事務局より、資料「中学校給食選択率等年次経過」及び資料「平成27年度中学校給食に関するアンケート調査結果」について基づき説明。

中学校給食選択率等年次経過生徒数については、平成13年開所当時の約4,000人から年々減小し、今年度は3,300人。選択率については、開所以来増え続け、平成27年度は9月までで、センター配送校93%、市内全体では94%。より選択率が上がるよう努力したい。

平成27年度中学校給食に関するアンケート調査結果については、中学校給食の実態を調査し今後の給食づくりに生かすことを目的に2年に1度実施しているもので、例えば、問2(1)給食の味はどうか?の回答は「おいしい」が前回から2%増えて73%、「おいしくない」は0.5%減少し3%。問2(2)給食の量はどうか?の回答は「ちょうどよい」が前回から2%増えて65%、「もっと多い方がいい」は4%減って22%、「もっと少ない方がいい」は2%増えて13%で、食事量には個人差があると思われませんが、その中でも「ちょうどいい」が増えている。問2(4)なぜ給食にしましたか?の回答は「栄養のバランスがとれているから」が一番多く36%、次いで「温かいものが食べられるから」が21%、「給食がおいしいから」が21%。問5、その他の意見感想の回答に「プラスチック製の食器にしてほしい」というものがある。小学校の時からプラスチック食器に慣れており、金属製の食器は冷たい印象があり、特に1年生からは不評であった。これについては、食器洗浄機を入れ替えてプラスチック食器に変えられるよう来年度予算を要望中。

○委員長

事務局の説明について、質問はございませんか。

○委員

中学校のアレルギー食対象者数が、高津共同調理場の同数に比べ少ないのはなぜか？

→事務局：中学校はアレルギーの生徒が弁当を選択していることが多いためと考えられる。

○委員

給食選択率の分母に不登校の生徒は含むか、また、給食の選択は日単位でできるか？

→事務局：不登校の生徒を含んでいる。また、給食の選択は月単位でしかできない。

○委員

給食を選択していない5%に、早退や2日前に給食をキャンセルした生徒も含むか？

→事務局：早退やキャンセルの生徒は、選択していない5%には含めていない。

○委員長

その他について、何かございませんか。

○委員

給食センターは使用開始から16年経過し、小学校更に古い。調理場の更新について、市に早めに決断してもらわないと、子供達の健康が気になる。

→事務局：市の中で検討中であるが、先月末にも庁内検討委員会を開催し、コスト計算をしている最中である。25年度もコスト計算していたが、精度を上げることが必要と思われるのと、年度が変わると数字も変わるので、先日の検討会で積算方法を検討したが、庁内検討会でも方向性が決まっている段階ではない。おっしゃるように老朽化が進んでおり、自校調理場は16もあるので一刻も早く更新できるよう担当課として努力したい。

○委員

小学校の栄養士は補充できたのか？

→事務局：大規模校には県費栄養士が配置されるが小規模校は配置されないため、市費で臨時又は委託の栄養士を配置しているが、4月から浮島小と宮西小で2名欠員が続いていた。教育委員会から9月に全保護者に募集のおたよりを出していただいた所、1名の応募があり11月から宮西小に配置予定。(後日、浮島小の栄養士も見つかりました)。

○委員

食物アレルギー事故や食中毒等の問題はあったどうかを実績に書いてほしい。

→事務局：4月以降にアレルギー事故はない。食の安全には支障はなかったが、調理機器は老朽化しているので、器具の故障が出てきている。なお、高津共同調理場において、平成27年度にアレルギーの誤配食が1件あったが、アレルギー症状は出ていない。また、今年度、学校給食アレルギー対応委員会において、学校給食における食物アレルギー対応マニュアルを作成中であり、来年度中の運用を目標に検討を進めている。

○筒井委員長

他にございませんか。ないようですので、以上で閉会いたします。